

平成30(2018)年度

数学専攻

セミナー 概要(シラバス)

2018年4月1日

大阪大学大学院理学研究科

目次

1 数学専攻 前期課程	7
応用数理学セミナー I	8
応用数理学セミナー I	9
応用数理学セミナー II	10
応用数理学基礎セミナー I	11
応用数理学基礎セミナー I	12
応用数理学基礎セミナー II	13
解析学セミナー I	14
解析学セミナー I	15
解析学セミナー I	16
解析学セミナー I	17
解析学セミナー I	18
解析学セミナー II	19
解析学セミナー II	20
解析学セミナー II	21
解析学セミナー II	22
解析学基礎セミナー I	23
解析学基礎セミナー I	24
解析学基礎セミナー I	25
解析学基礎セミナー I	26
解析学基礎セミナー I	27
解析学基礎セミナー II	28
解析学基礎セミナー II	29
解析学基礎セミナー II	30
解析学基礎セミナー II	31
幾何学セミナー I	32
幾何学セミナー I	33
幾何学セミナー II	34
幾何学セミナー II	35
幾何学セミナー II	36
幾何学基礎セミナー I	37
幾何学基礎セミナー I	38
幾何学基礎セミナー II	39
幾何学基礎セミナー II	40
幾何学基礎セミナー II	41
現代数理学セミナー	42
現代数理学基礎セミナー	43
実験数学セミナー I	44
実験数学セミナー I	45
実験数学セミナー II	46
実験数学基礎セミナー I	47
実験数学基礎セミナー I	48
実験数学基礎セミナー II	49
代数学セミナー I	50
代数学セミナー I	51

目次

代数学セミナー I	52
代数学セミナー I	53
代数学セミナー II	54
代数学セミナー II	55
代数学セミナー II	56
代数学セミナー II	57
代数学基礎セミナー I	58
代数学基礎セミナー I	59
代数学基礎セミナー I	60
代数学基礎セミナー I	61
代数学基礎セミナー II	62
代数学基礎セミナー II	63
代数学基礎セミナー II	64
代数学基礎セミナー II	65
大域数理学セミナー I	66
大域数理学セミナー II	67
大域数理学セミナー II	68
大域数理学セミナー II	69
大域数理学セミナー II	70
大域数理学基礎セミナー I	71
大域数理学基礎セミナー II	72
大域数理学基礎セミナー II	73
大域数理学基礎セミナー II	74
大域数理学基礎セミナー II	75
2 数学専攻 後期課程	76
応用数理学特別セミナー 1	77
応用数理学特別セミナー 1	78
応用数理学特別セミナー 1	79
応用数理学特別セミナー 1	80
応用数理学特別セミナー 1	81
応用数理学特別セミナー 2	82
応用数理学特別セミナー 2	83
応用数理学特別セミナー 2	84
応用数理学特別セミナー 2	85
応用数理学特別セミナー 2	86
応用数理学特別セミナー 3	87
応用数理学特別セミナー 3	88
応用数理学特別セミナー 3	89
応用数理学特別セミナー 3	90
応用数理学特別セミナー 3	91
解析学特別セミナー 1	92
解析学特別セミナー 1	93
解析学特別セミナー 1	94
解析学特別セミナー 1	95
解析学特別セミナー 1	96
解析学特別セミナー 1	97
解析学特別セミナー 1	98

解析学特別セミナー 1	99
解析学特別セミナー 1	100
解析学特別セミナー 2	101
解析学特別セミナー 2	102
解析学特別セミナー 2	103
解析学特別セミナー 2	104
解析学特別セミナー 2	105
解析学特別セミナー 2	106
解析学特別セミナー 2	107
解析学特別セミナー 2	108
解析学特別セミナー 2	109
解析学特別セミナー 3	110
解析学特別セミナー 3	111
解析学特別セミナー 3	112
解析学特別セミナー 3	113
解析学特別セミナー 3	114
解析学特別セミナー 3	115
解析学特別セミナー 3	116
解析学特別セミナー 3	117
解析学特別セミナー 3	118
幾何学特別セミナー 1	119
幾何学特別セミナー 1	120
幾何学特別セミナー 1	121
幾何学特別セミナー 1	122
幾何学特別セミナー 1	123
幾何学特別セミナー 2	124
幾何学特別セミナー 2	125
幾何学特別セミナー 2	126
幾何学特別セミナー 2	127
幾何学特別セミナー 2	128
幾何学特別セミナー 3	129
幾何学特別セミナー 3	130
幾何学特別セミナー 3	131
幾何学特別セミナー 3	132
幾何学特別セミナー 3	133
現代数理学特別セミナー 1	134
現代数理学特別セミナー 2	135
現代数理学特別セミナー 3	136
実験数学特別セミナー 1	137
実験数学特別セミナー 1	138
実験数学特別セミナー 1	139
実験数学特別セミナー 2	140
実験数学特別セミナー 2	141
実験数学特別セミナー 2	142
実験数学特別セミナー 3	143
実験数学特別セミナー 3	144
実験数学特別セミナー 3	145

目次

代数学特別セミナー 1	146
代数学特別セミナー 1	147
代数学特別セミナー 1	148
代数学特別セミナー 1	149
代数学特別セミナー 1	150
代数学特別セミナー 1	151
代数学特別セミナー 1	152
代数学特別セミナー 1	153
代数学特別セミナー 2	154
代数学特別セミナー 2	155
代数学特別セミナー 2	156
代数学特別セミナー 2	157
代数学特別セミナー 2	158
代数学特別セミナー 2	159
代数学特別セミナー 2	160
代数学特別セミナー 2	161
代数学特別セミナー 3	162
代数学特別セミナー 3	163
代数学特別セミナー 3	164
代数学特別セミナー 3	165
代数学特別セミナー 3	166
代数学特別セミナー 3	167
代数学特別セミナー 3	168
代数学特別セミナー 3	169
大域数理学特別セミナー 1	170
大域数理学特別セミナー 1	171
大域数理学特別セミナー 1	172
大域数理学特別セミナー 2	173
大域数理学特別セミナー 2	174
大域数理学特別セミナー 2	175
大域数理学特別セミナー 3	176
大域数理学特別セミナー 3	177
大域数理学特別セミナー 3	178

1 数学専攻 前期課程

1. 数学専攻 前期課程

応用数理学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Applied Mathematics I
授業コード	249063
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	降籬 大介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	現象、モデリング、微分方程式、数値解析などについてその関係性と、基礎とその応用を学ぶ
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	空いている時間などを利用して、計算機環境などについてもなるべく自学にて理解を深めることを強く推奨する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

応用数理学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Applied Mathematics I
授業コード	249630
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	安田 正大 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキストの講読を通じ、与えられた課題に関する正確な知識を身につける。セミナーでの発表を通じ、習得した内容を分かりやすく伝えることができるようになる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。他の学生のセミナーや関連分野の専門家とのディスカッションをなど通じ、課題内容と他分野との結びつきを理解し、幅広い視点から課題内容を考察する力を身につける。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

応用数理学セミナー II

英語表記	Seminar in Applied Mathematics II
授業コード	249438
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	砂川 秀明 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における進んだ知識を与えると同時に, 修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて, 身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論, 情報理論, 計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて, 課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより, 総合的に評価する。
コメント	

応用数理学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Applied Mathematics I
授業コード	249030
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	降旗 大介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	現象、モデリング、微分方程式、数値解析などについてその関係性と、基本的な基礎を学ぶ
履修条件	特になし
特記事項	数理物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業計画	
授業外における学習	空いている時間などを利用して、計算機環境などについてもなるべく自学にて理解を深めることを強く推奨する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

応用数理学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Applied Mathematics I
授業コード	249627
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	安田 正大 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	テキストの講読を通じ、与えられた課題に関する正確な知識を身につける。セミナーでの発表を通じ、習得した内容を的確に伝えることができるようになる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。他の学生のセミナーや関連分野の専門家とのディスカッションをなど通じ、課題内容と他分野との結びつきを理解し、幅広い視点から課題内容を考察する力を身につける。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

応用数学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Applied Mathematics II
授業コード	249434
No.	24MATH6F111
単位数	9
担当教員	砂川 秀明 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論, 情報理論, 計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学セミナー I

英語表記	Seminar in Analysis I
授業コード	249621
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	水谷 治哉 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Analysis I
授業コード	249519
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	盛田 健彦 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	数学における専門分野について、基礎理論から最先端のトピックスに至までの知識を有し、研究を推進するための基本的な技能を習得している。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキスト・論文等を批判的精神をもって熟読する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Analysis I
授業コード	249281
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	塩沢 裕一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Analysis I
授業コード	249047
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	杉田 洋 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学セミナー I

英語表記	Seminar in Analysis I
授業コード	249046
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	林 仲夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学セミナー II

英語表記	Seminar in Analysis II
授業コード	249050
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	内田 素夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学, 偏微分方程式論, 関数解析学, 確率論などの分野についてセミナーを行なう。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学セミナー II

英語表記	Seminar in Analysis II
授業コード	249520
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	富田 直人 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学セミナー II

英語表記	Seminar in Analysis II
授業コード	240140
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	片山 聡一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学セミナー II

英語表記	Seminar in Analysis II
授業コード	249049
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	土居 伸一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Analysis I
授業コード	249280
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	塩沢 裕一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	数学における専門分野について、基礎理論から最先端の話題に至るまでの知識を有し、研究を推進するための基本的な技能を習得している。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Analysis I
授業コード	249620
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	水谷 治哉 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Analysis I
授業コード	249013
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	林 仲夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Analysis I
授業コード	249542
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	盛田 健彦 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	数学における専門分野について、基礎理論から最先端のトピックスに至までの知識を有し、研究を推進するための基本的な技能を習得している。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキスト・論文を批判的精神をもって熟読する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Analysis I
授業コード	249014
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	杉田 洋 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Analysis II
授業コード	249016
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	土居 伸一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Analysis II
授業コード	249017
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	内田 素夫 居室 : b348
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行ない、学生能力とセミナーの進展次第では論文作成指導などに移行する。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学, 偏微分方程式論, 関数解析学, 確率論などの分野についてセミナーを行なう。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナー発表などにより総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

解析学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Analysis II
授業コード	249516
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	富田 直人 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

解析学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Analysis II
授業コード	240127
No.	24MATH6F104
単位数	9
担当教員	片山 聡一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

幾何学セミナー I

英語表記	Seminar in Geometry I
授業コード	249041
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	榎 一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	幾何学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

幾何学セミナー I

英語表記	Seminar in Geometry I
授業コード	240137
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	太田 慎一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

幾何学セミナー II

英語表記	Seminar in Geometry II
授業コード	249258
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	大鹿 健一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	幾何学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

幾何学セミナー II

英語表記	Seminar in Geometry II
授業コード	249436
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	菊池 和徳 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	幾何学の分野における進んだ知識の内容を文献講読・セミナー発表を通じて身につけ、修士論文を準備する。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における進んだ文献の内容を理解し、それをセミナーで発表するための準備をする。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

幾何学セミナー II

英語表記	Seminar in Geometry II
授業コード	249644
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	金 英子 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

幾何学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Geometry I
授業コード	240124
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	太田 慎一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

幾何学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Geometry I
授業コード	249008
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	榎 一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

幾何学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Geometry II
授業コード	249643
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	金 英子 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

幾何学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Geometry II
授業コード	249257
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	大鹿 健一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

幾何学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Geometry II
授業コード	249432
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	菊池 和徳 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	幾何学の分野の基礎知識の内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における基礎的な文献の内容を理解し、それをセミナーで発表するための準備をする。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

現代数理学セミナー

英語表記	Seminar in Mathematical Science
授業コード	249066
No.	24MATH6F100
単位数	9
担当教員	永友 清和 居室：
質問受付	月曜 2 限
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	現代数理学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 物理学に現れる偏微分方程式、代数解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

現代数理学基礎セミナー

英語表記	Reading Course in Mathematical Science
授業コード	249033
No.	24MATH6F100
単位数	9
担当教員	永友 清和 居室：
質問受付	月曜 2 限
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	現代数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 物理学に現れる偏微分方程式、代数解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

実験数学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Experimental Mathematics I
授業コード	249060
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	茶碗谷 毅 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト精読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 力学系、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

実験数学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Experimental Mathematics I
授業コード	249260
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	渡部 隆夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

実験数学セミナー II

英語表記	Seminar in Experimental Mathematics II
授業コード	249265
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	藤原 彰夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における進んだ知識を与えると同時に, 修士論文の準備のための研究指導をする.
学習目標	テキスト講読・セミナー発表を通じて, 課題内容を身につける.
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理工学や情報理論などの分野についてセミナーを行う.
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて, 課題内容を確実に理解する.
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより, 総合的に評価する.
コメント	

実験数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Introductory Seminar in Experimental Mathematics I
授業コード	249259
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	渡部 隆夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

実験数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Introductory Seminar in Experimental Mathematics I
授業コード	249027
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	茶碗谷 毅 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 力学系、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

実験数学基礎セミナー II

英語表記	Introductory Seminar in Experimental Mathematics II
授業コード	249264
No.	24MATH6F105
単位数	9
担当教員	藤原 彰夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野の基礎知識の修得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	テキスト講読・セミナー発表を通じて、課題内容を身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理工学や情報理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学セミナー I

英語表記	Seminar in Algebra I
授業コード	249670
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	宇野 勝博 居室 :
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学セミナー I

英語表記	Seminar in Algebra I
授業コード	249642
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	大川 新之介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学セミナー I

英語表記	Seminar in Algebra I
授業コード	249552
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	有木 進 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学セミナー I

英語表記	Seminar in Algebra I
授業コード	249675
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	中村 博昭 居室 :
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学セミナー II

英語表記	Seminar in Algebra II
授業コード	249279
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	高橋 篤史 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野における高度な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野 (整数論、代数幾何学、可換環論、組合せ論、表現論、群論など) についてセミナーを行う。
授業外における学習	文献の読解および発表の準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学セミナー II

英語表記	Seminar in Algebra II
授業コード	249518
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	藤野 修 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学セミナー II

英語表記	Seminar in Algebra II
授業コード	249038
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	今野 一宏 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えると同時に、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学セミナー II

英語表記	Seminar in Algebra II
授業コード	249409
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	森山 知則 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における進んだ知識を与えるとともに、修士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における標準的な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Algebra I
授業コード	249674
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	中村 博昭 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Algebra I
授業コード	249641
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	大川 新之介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Algebra I
授業コード	249669
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	宇野 勝博 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	Representations of finite groups など/
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Algebra I
授業コード	249551
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	有木 進 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Algebra II
授業コード	249278
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	高橋 篤史 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	専門分野におけるやや高度な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野 (整数論、代数幾何学、可換環論、組合せ論、表現論、群論など) についてセミナーを行う。
授業外における学習	文献の読解および発表の準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Algebra II
授業コード	249005
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	今野 一宏 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

代数学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Algebra II
授業コード	249408
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	森山 知則 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における標準的な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

代数学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Algebra II
授業コード	240123
No.	24MATH6F102
単位数	9
担当教員	藤野 修 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

大域数理学セミナーⅠ

英語表記	Seminar in Mathematical Structures in the Large I
授業コード	249056
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	後藤 竜司 居室：
質問受付	.
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	.
履修条件	.
特記事項	.
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	.
教科書	.
参考文献	.
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	.

大域数理学セミナー II

英語表記	Seminar in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249058
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	安井 弘一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す. 少人数セミナーの形式で行うので, 学生の能力とセミナーの進展次第では, 論文作成指導などに移行する.
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて, 身につける.
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 多様体の幾何学, トポロジー, 幾何解析などの分野についてセミナーを行う.
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて, 課題内容を確実に理解する.
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより, 総合的に評価する.
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

大域数理学セミナー II

英語表記	Seminar in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249697
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	山ノ井 克俊 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す. 少人数セミナーの形式で行うので, 学生の能力とセミナーの進展次第では, 論文作成指導などに移行する.
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて, 身につける.
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 多様体の幾何学, トポロジー, 幾何解析などの分野についてセミナーを行う.
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて, 課題内容を確実に理解する.
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより, 総合的に評価する.
コメント	

大域数学セミナー II

英語表記	Seminar in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249665
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	糟谷 久矢 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す. 少人数セミナーの形式で行うので, 学生の能力とセミナーの進展次第では, 論文作成指導などに移行する.
学習目標	学生は修士論文を書くための基礎を築くことができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 多様体の幾何学, トポロジー, 幾何解析などの分野についてセミナーを行う.
授業外における学習	セミナーの準備
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより, 総合的に評価する.
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

大域数理学セミナー II

英語表記	Seminar in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249057
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	大島 芳樹 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域幾何学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 多様体の幾何学、トポロジー、幾何解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

大域数理学基礎セミナーⅠ

英語表記	Reading Course in Mathematical Structures in the Large I
授業コード	249023
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	後藤 竜司 居室：
質問受付	.
履修対象	
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	.
履修条件	.
特記事項	.
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	.
教科書	.
参考文献	.
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	.

1. 数学専攻 前期課程

大域数理学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249696
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	山ノ井 克俊 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

大域数理学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249664
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	糟谷 久矢 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	学生は修士論文を書くための基礎学力を築くことができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	セミナーの準備
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

1. 数学専攻 前期課程

大域数理学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249025
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	安井 弘一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

大域数理学基礎セミナー II

英語表記	Reading Course in Mathematical Structures in the Large II
授業コード	249024
No.	24MATH6F103
単位数	9
担当教員	大島 芳樹 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士前期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野の基礎知識の習得を目指す。少人数セミナーの形式で行うので、学生の能力とセミナーの進展次第では、論文作成指導などに移行する。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	

2. 数学専攻 後期課程

2 数学専攻 後期課程

応用数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 1
授業コード	240901
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安井 弘一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 1
授業コード	249440
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	砂川 秀明 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 1
授業コード	249134
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	大島 芳樹 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 1
授業コード	249634
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安田 正大 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキストの講読を通じ、与えられた課題に関する正確な知識を身につける。セミナーでの発表を通じ、習得した内容を分かりやすく伝えることができるようになる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。他の学生のセミナーや関連分野の専門家とのディスカッションをなど通じ、課題内容と他分野との結びつきを理解し、幅広い視点から課題内容を考察する力を身につける。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 1
授業コード	249138
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	降旗 大介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	現象、モデリング、微分方程式、数値解析などについてその関係性と、基礎とその応用、発展を学ぶ
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	空いている時間などを利用して、計算機環境などについてもなるべく自学にて理解を深めることを強く推奨する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 2
授業コード	240902
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安井 弘一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 2
授業コード	249442
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	砂川 秀明 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 2
授業コード	249140
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	大島 芳樹 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 2
授業コード	249635
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安田 正大 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキストの講読を通じ、与えられた課題に関する正確な知識を身につける。セミナーでの発表を通じ、習得した内容を分かりやすく伝えることができるようになる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。他の学生のセミナーや関連分野の専門家とのディスカッションをなど通じ、課題内容と他分野との結びつきを理解し、幅広い視点から課題内容を考察する力を身につける。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 2
授業コード	249144
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	降籬 大介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	現象、モデリング、微分方程式、数値解析などについてその関係性と、基礎とその応用、発展を学ぶ
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	空いている時間などを利用して、計算機環境などについてもなるべく自学にて理解を深めることを強く推奨する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 3
授業コード	249444
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	砂川 秀明 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 3
授業コード	249636
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安田 正大 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキストの講読を通じ、与えられた課題に関する正確な知識を身につける。セミナーでの発表を通じ、習得した内容を分かりやすく伝えることができるようになる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。他の学生のセミナーや関連分野の専門家とのディスカッションをなど通じ、課題内容と他分野との結びつきを理解し、幅広い視点から課題内容を考察する力を身につける。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 3
授業コード	240903
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	安井 弘一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解物理、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 3
授業コード	249146
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	大島 芳樹 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じ、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

応用数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Applied Mathematics 3
授業コード	249150
No.	24MATH7F111
単位数	9
担当教員	降旗 大介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	応用数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	現象、モデリング、微分方程式、数値解析などについてその関係性と、基礎とその応用、発展を学ぶ
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 数理解論、情報理論、計算機科学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	空いている時間などを利用して、計算機環境などについてもなるべく自学にて理解を深めることを強く推奨する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249111
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	杉田 洋 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249010
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	富田 直人 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249622
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	水谷 治哉 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249110
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	林 仲夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249116
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	盛田 健彦 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野について、最先端の知識と技能を有し、研究を主体的に推進することができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	論文等を批判的精神をもって熟読する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249109
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	片山 聡一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249113
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	土居 伸一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249282
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	塩沢 裕一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 1
授業コード	249114
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	内田 素夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学, 偏微分方程式論, 関数解析学, 確率論などの分野についてセミナーを行なう。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249117
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	片山 聡一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249122
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	内田 素夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学, 偏微分方程式論, 関数解析学, 確率論などの分野についてセミナーを行なう。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249118
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	林 仲夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249121
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	土居 伸一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249283
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	塩沢 裕一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249124
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	盛田 健彦 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野について、最先端の知識と技能を有し、研究を主体的に推進することができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	論文等を批判的精神をもって熟読する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249623
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	水谷 治哉 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249119
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	杉田 洋 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 2
授業コード	249011
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	富田 直人 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249624
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	水谷 治哉 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249018
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	富田 直人 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249130
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	内田 素夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学, 偏微分方程式論, 関数解析学, 確率論などの分野についてセミナーを行なう。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249129
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	土居 伸一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249126
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	林 仲夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249132
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	盛田 健彦 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野について、最先端の知識と技能を有し、研究を主体的に推進することができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	論文等を批判的精神をもって熟読する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249125
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	片山 聡一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249127
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	杉田 洋 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

解析学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Analysis 3
授業コード	249284
No.	24MATH7F104
単位数	9
担当教員	塩沢 裕一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	解析学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト輪読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 複素解析学、偏微分方程式論、関数解析学、確率論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 1
授業コード	249086
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	大鹿 健一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 1
授業コード	249650
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	金 英子 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 1
授業コード	249090
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	菊池 和徳 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	幾何学の分野における深い知識の内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における文献の内容を深く理解し、それをセミナーで発表するための準備をする。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 1
授業コード	249089
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	榎 一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 1
授業コード	249087
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	太田 慎一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、大域解析学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 2
授業コード	249098
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	菊池 和徳 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	幾何学の分野における深い知識の内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて身につけ、博士論文の準備を進める。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における文献の内容を深く理解し、それをセミナーで発表するための準備をする。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 2
授業コード	249094
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	大鹿 健一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 2
授業コード	249651
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	金 英子 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 2
授業コード	249097
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	榎 一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 2
授業コード	249093
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	太田 慎一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、大域解析学などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 3
授業コード	249105
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	榎 一郎 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 3
授業コード	249106
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	菊池 和徳 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	幾何学の分野における深い知識の内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における文献の内容を深く理解し、それをセミナーで発表するための準備をする。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 3
授業コード	249102
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	大鹿 健一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 3
授業コード	249101
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	太田 慎一 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

幾何学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Geometry 3
授業コード	249652
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	金 英子 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	幾何学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 微分幾何学、複素多様体、位相幾何学、結び目理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

現代数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Science 1
授業コード	249181
No.	24MATH7F100
単位数	9
担当教員	永友 清和 居室：
質問受付	月曜 2 限
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	現代数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 物理学に現れる偏微分方程式、代数解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

現代数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Science 2
授業コード	249182
No.	24MATH7F100
単位数	9
担当教員	永友 清和 居室：
質問受付	月曜 2 限
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	現代数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 物理学に現れる偏微分方程式、代数解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

現代数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Science 3
授業コード	249183
No.	24MATH7F100
単位数	9
担当教員	永友 清和 居室：
質問受付	月曜 2 限
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	現代数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 物理学に現れる偏微分方程式、代数解析などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 1
授業コード	249176
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	茶碗谷 毅 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 力学系、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 1
授業コード	249266
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	藤原 彰夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキスト講読・セミナー発表を通じて、課題内容を身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 1
授業コード	249261
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	渡部 隆夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	自ら研究課題を見つけるための思考法と課題解決のための方法論をセミナー発表等を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、研究課題の探索・課題解決のための技術的方法を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 2
授業コード	249262
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	渡部 隆夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	自ら研究課題を見つけるための思考法と課題解決のための方法論をセミナー発表等を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、研究課題の探索・課題解決のための技術的方法を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 2
授業コード	249267
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	藤原 彰夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキスト講読・セミナー発表を通じて、課題内容を身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 2
授業コード	249178
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	茶碗谷 毅 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 力学系、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 3
授業コード	249180
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	茶碗谷 毅 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 力学系、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 3
授業コード	249268
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	藤原 彰夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	テキスト講読・セミナー発表を通じて、課題内容を身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

実験数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Experimental Mathematics 3
授業コード	249263
No.	24MATH7F105
単位数	9
担当教員	渡部 隆夫 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	演習科目
目的と概要	実験数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	自ら研究課題を見つけるための思考法と課題解決のための方法論をセミナー発表等を通じて身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 応用整数論、数値計算などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、研究課題の探索・課題解決のための技術的方法を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249070
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	森山 知則 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における標準的な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249069
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	今野 一宏 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249002
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	藤野 修 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249553
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	有木 進 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249676
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	中村 博昭 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249671
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	宇野 勝博 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249647
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	大川 新之介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 1
授業コード	249269
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	高橋 篤史 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野における最新の文献の内容を理解し、自ら研究に取り組み、成果を取りまとめることができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野 (整数論、代数幾何学、可換環論、組合せ論、表現論、群論など) についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249672
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	宇野 勝博 居室 :
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249006
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	藤野 修 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249554
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	有木 進 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249270
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	高橋 篤史 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野における最新の文献の内容を理解し、自ら研究に取り組み、成果を取りまとめることができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野 (整数論、代数幾何学、可換環論、組合せ論、表現論、群論など) についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249075
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	今野 一宏 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249076
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	森山 知則 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における標準的な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249677
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	中村 博昭 居室 :
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 2
授業コード	249648
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	大川 新之介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249555
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	有木 進 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249271
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	高橋 篤史 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	専門分野における最新の文献の内容を理解し、自ら研究に取り組み、成果を取りまとめることができる。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 代数学の分野 (整数論、代数幾何学、可換環論、組合せ論、表現論、群論など) についてセミナーを行う。
授業外における学習	最新論文の読解、自身の研究結果の取りまとめ、プレゼンテーションの準備などを行う。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249649
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	大川 新之介 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249081
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	今野 一宏 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249678
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	中村 博昭 居室 :
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249009
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	藤野 修 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249673
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	宇野 勝博 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

代数学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Algebra 3
授業コード	249082
No.	24MATH7F102
単位数	9
担当教員	森山 知則 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	代数学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 整数論、可換環論、組合せ論、代数幾何学、群論、組合せゲーム理論などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	専門分野における標準的な文献の内容を理解し、それを他者に説明することができる。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 1
授業コード	249701
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	山ノ井 克俊 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 1
授業コード	249157
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	後藤 竜司 居室：
質問受付	.
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	その他
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	.
履修条件	.
特記事項	.
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	.
教科書	.
参考文献	.
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 1

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 1
授業コード	249666
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	糟谷 久矢 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 1 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	学生は修士論文レベルから博士論文論文レベルの研究に移行することができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	セミナーの準備
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 2
授業コード	249702
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	山ノ井 克俊 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 2
授業コード	249165
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	後藤 竜司 居室：
質問受付	.
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	.
履修条件	.
特記事項	.
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	.
教科書	.
参考文献	.
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 2

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 2
授業コード	249667
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	糟谷 久矢 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 2 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	学生は博士論文に値する研究テーマを見つけることができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	セミナーの準備
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 3
授業コード	249668
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	糟谷 久矢 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	学生は博士論文に値する論文を執筆することができる
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	セミナーの準備
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 3
授業コード	249703
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	山ノ井 克俊 居室：
質問受付	
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えると同時に、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	課題内容をテキスト講読・セミナー発表を通じて、身につける。
履修条件	
特記事項	
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	テキストの精読・関係図書資料の調査などを通じて、課題内容を確実に理解する。
教科書	
参考文献	
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

大域数理学特別セミナー 3

英語表記	Seminar for Advanced Researches in Mathematical Structures in the Large 3
授業コード	249173
No.	24MATH7F103
単位数	9
担当教員	後藤 竜司 居室：
質問受付	.
履修対象	数学専攻 博士後期課程 3 年次 選択必修
開講時期	通年
場所	その他
授業形態	
目的と概要	大域数理学の分野における深い知識を与えるとともに、博士論文の準備のための研究指導をする。
学習目標	.
履修条件	.
特記事項	.
授業計画	【講義内容】 大域解析学、代数多様体などの分野についてセミナーを行う。
授業外における学習	.
教科書	.
参考文献	.
成績評価	セミナーにおける発表などにより、総合的に評価する。
コメント	特別セミナー 1、2、3 はそれぞれ 1 年次、2 年次、3 年次に履修する。

発行年月日 平成 30 年 4 月 11 日

発行 大阪大学大学院理学研究科 大学院係

製版 大阪大学大学院理学研究科 物理学専攻 山中 卓

URL http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/campuslife/coursedescription_d/

この冊子は、KOAN のデータを元に Python 2.7 と MacTeX2017 を用いて自動生成しました。
レイアウトは大阪大学コミュニケーションデザイン・センターのシラバスを参考にしました。